2days race in 木祖村 2021

シニア　テクニカルガイド(Ver.210404)：

大会特別規則を下記のように定める

第１章総則

１．競技規則総則　この大会は特定上位選手を除いた選手に本格的なステージレース参加機会を提供すること、総合優勝選手を決めることを目的する。本大会は UCI, ＪＣＦ競技規則およびペナルティースケールに従う。特別条項については大会特別規則を定める。追加及び修正情報を本ＨＰ上で発表することがある。

２．競技規則の熟知　この大会に参加する選手、チーム役員は上記規則および、競技車両運行の慣例を熟知していることを前提としている。したがって、UCI,JCF 競技規則、本大会特別規則を知らないことはペナルティースケール適用除外の理由とならない。

３．本大会は２０２１全日本選手権ロードレース出場資格付与大会を以下で申請して~~いる。~~認められた。(mod.210208)

エリート　個人総合全体で　３位以内

U-23　　個人総合全体で　６位以内

ジュニア　個人総合全体で　１０位以内

４．コロナ対策

参加受付通知 4 月 15 日　及び大会 1 週間目 5 月 15 日の時点で、木祖村担当者と、感染状況を勘案して開催の可否を告知する。

第２章競技前まで

３．参加資格

本大会参加資格を下記とする。

シニア：

JBCF 成績；UCI コンチネンタル登録チーム以外のチーム･選手

ただし、同時期開催の国際レースに出場していない選手

（例：チームは TOJ に参加したが、出場できなかった予備登録以下の選手　または TOJ に参加できなかった国内コンチネンタル登録チーム）

２０２０JBCF 選手振り分け E１以上の選手を想定している。

２０２０JBCF 選手振り分け E３の選手には水準が高すぎると想定。

学連成績　：２０２０学生個人ロードレース３位以内を除く、学連登録選手

学生ロードシリーズポイントを１P 以上獲得していることが望ましい

海外選手　：２０２０年３月１０日付け UCI ポイント４点未満の選手

未登録　　：主催者が認めた JCRC　Ｓ，Ａクラスのシニア選手
　　２０２０年の成績一覧を別途送付すること。
女子選手　：ＪＣＦ登録シニア選手で主催者の認めたもの
ジュニア　：ＪＣＦ登録ジュニア選手で主催者に確認し主催者の認めたもの
　　（２００３年／２００４年生まれの選手、最大ギヤ 7.93m を条件とします）
　　本大会においては、学連登録選手であっても、２００３年生まれの選手はジュニア選手として最大ギヤ比の制限をかけます。
上記で構成する選手最低４名または最大５名、選手以外のスタッフ１名から３名のチーム。
総参加チーム数を３５とする。
注意書き：走行技術が未熟、集団走行が不慣れな選手には危険です。
　　主催者は JBCF クラスターE1 程度の技術実力を想定しています。
　　競技経験が浅い選手（２０２０，２０１９学生ロードシリーズポイントを持たない選手など）は危険防止のため参加を断念することを推奨します。

締め切り後ホームページに申し込み選手名簿を公表する。他チームの参加選手参加資格について疑義が有る場合、２０１６年４月１５日までにセクレタリーあてメール／書面で提出すること。（ＪＣＦ競技規則３９条１項修正）
　レースセクレタリー　小川　知大　e-mail：info.kijimadaira2days@gmail.com

3-1 ジョイントチーム
当該連盟登録メンバーが５名に達していないとき、以下を認める
　１）よそのチームからメンバーをレンタルして選手５名＋予備登録選手２名＋スタッフ 1～３名のジョイントチームを作る。チームジャージは統一すること。パンツに付いてはレンタルした選手の元所属チームパンツの着用を認める。レンタルした選手はレンタル先チームマネージャーの指揮に従う。

3-2 参加費、参加申込期限
参加費､参加申し込み期限、手続きを下記の様に確認する。参加費用は選手数に関係しない。

　申込期限　　２０２１年４月０５日必着
　選手名簿送付先
　　レースセクレタリー　小川　知大　e-mail：info.kijimadaira2days@gmail.com

　　セクレタリーあて E-mail にエクセル表添付して名簿を送付下さい。
　　この日付以降はレイトフィー５，０００円／ティームが加算されます。
　　正登録選手４－５名予備登録選手２名
　　正登録役員１－３名予備登録役員１名を登録できる。
　　ステージ１Ａティーム内での出走順番を指定することが出来る。
　　チームジャージデジカメ画像（正面、右側）添付送付ください。
　　未登録選手については２日間有効の臨時選手登録を行いますが、事前の JCF 登録を推奨します。

選手名簿様式他をホームページからダウンロード後必要事項を入力下さい。
４月１０日から１５日まで参加資格審査のため名簿をホームページで公開します。
他チーム参加資格について疑義がある場合、セクレタリー宛にメールください。
４月１５日までに参加資格審査終了後、参加受付通知を４月１６日までに送付する。
４月２０日までに下記に現金書留で送付すること､または、指定口座に入金すること。
４月２０日までに到着・入金のない場合、補欠チームの繰上げとする。

参加費用の中に宿泊費用は含まれていない。
シニアＪＣＦ登録選手のみのチーム　　４０，０００円／チーム
ＪＣＦ未登録選手１名につき４，０００円の追加料金
計算例：JCF 登録３名＋未登録１名で参加申し込みする場合
４０，０００￥/チーム　＋４，０００￥/未登録＝４４，０００円/チーム
主催者側で２日間有効の臨時登録を行います。
予め JCF 選手登録をしてもらうことを強く推奨します

現金申込先　　〒399-8501　北安曇郡松川村 5724　小林秀一まで
振込先　　八十二銀行大町支店(店番号４８５)　口座番号６８９　１９８
口座名　2days race in 木祖村実行委員会　事務局

申込締め切り後の選手役員の変更
選手、役員にかかわらず１名の変更につきに付き３，０００円とする。
実行委員会は申込締め切り後の選手役員の変更を拒否する権利を保持していることを確認する。
予備選手登録、予備役員登録制度を十分に活用することをレースディレクターは希望する。

3-3 参加日程

テクニカルガイド発表	2021 年 2 月 10 日
~~主催者指定チーム発表~~	~~2 月 10 日~~
~~主催者指定チーム参加申し込み期限~~	~~3 月 20 日~~
一般参加チーム参加申し込み期限	4 月 05 日(月)
参加名簿公開､参加資格審査開始	4 月 10 日
参加資格各審査終了	4 月 15 日
参加受付通知	4 月 15 日
現金送付・入金	4 月 20 日

3-4 参加申し込み順位
参加チーム総数を３５とする。参加申し込みチームが３５を超過したときには下記の順番で参加順位を決めて参加チーム総数を３５とする場合がある。
同一母体から３番目以降のチームが参加する場合、下記１）～３）の基準で参加チームが決定した後、３５に満たない場合にだけ、２)、３）の基準で参加できる。
同一母体から３番目以降のチームを参加させたい場合、通常の参加申し込みをしてください。参加申

し込み名簿にその旨記載し、３５チームになるまで　参加申し込みを受け付けます。２０１２から申し込みの際、同一母体からの参加チーム順番の記載をお願いしています。

同一母体から参加するチームは別のチームと明らかに区別が付くジャージを着用下さい。区別が困難と判断したチームジャージには判別のため　ガムテープなどで判別のための操作を加える可能性があります。

１）主催者指定チーム

２０２１年は主催者指定チームを指定しない。

２）セクレタリーが受信した参加申込資料が揃った日付の早い順

３）同日の場合、監督が JCF 審判資格、コーチ資格を持つチーム

3-5 宿泊

２０２０年木祖村がコース沿いののり面工事を実施していただき、コースの安全を確保してもらえました。雪解け後に最終的に安全確認を行い開催の可否を判断します。2days race in 木祖村２０２１はこうした木祖村のご協力で開催にこぎつけることが出来たことをご理解ください。２日間のステージレースでは、体力の回復が成績に大きく影響するとレースディレクターは信じております

安心して睡眠するために、観光協会経由で木祖村内に宿を求めることを強く勧めます。村内の宿は薮原地区、スキー場周辺の 2 箇所です。どちらも会場から車で１０分ほどです。

観光協会を通して　2daysRace in 木祖村２０２１参加選手が、気持ちよく宿泊していただける村内の宿を紹介します。

宿泊予約の際には「2days race in 木祖村参加　静かに眠りたい」とおっしゃって下さい。

木祖村観光協会　０２６４－３６－２５４３

~~http://www.vill.kiso.nagano.jp/kankou/~~

２１０３１６時点の宿情報追加（コロナ禍により受け入れ宿泊数を制限しました）

http://www.vill.kiso.nagano.jp/kankou/staying_meal_souvenir/staying_meal_souvenir.html

４．競技日程

21.05.22　09：00-10：00　シニアライセンスコントロール、ゼッケン配布

（ゴールラインテントにて）

10：00-10：30　シニアティームマネージャーミーティング

（ゴールラインテントにて）

10:10　*地元の部 TT スタート地点に向けて集団で移動開始*

10:30-　*地元の部個人 TT（ダム堤体～　L=3km　1 分間隔　）*

11：01－　シニアｽﾃｰｼﾞ 1a 第一走者出走

個人タイムトライアル　8.5ｋｍ　１分間隔　１７５名の場合

３順目終了後４順目開始までに１０分間の休憩を入れる。

14:05　最終選手出走

14:20　最終選手ゴール　直ちに表彰式

14:30-14:45　シニアｽﾃｰｼﾞ１ｂ出走サイン

(参加チーム数によりサイン、出走時刻に修整がある。)

15:00－　**シニアロードレース**　**７５ｋｍ**（9km x 9 周 -6km ローリング）

17:10　先頭ゴール直ちに表彰式

17:25　最終選手ゴール直ちに交通規制解除。

18:51　日没予定時刻

21.05.23　08：00－08：30　ジュニア＋残念,ゼッケン配布、出走サイン

09：00－　ジュニア＋残念個人ロードレース 72ｋｍ（9km x ８周）

11：30-11：45　シニアｽﾃｰｼﾞ２　出走サイン

12：00－　シニアｽﾃｰｼﾞ２

個人ロードレース　**１２０ｋｍ**（９ｋｍx 14 周 －6km ローリング）

15:15　先頭ゴール

15:30　最終選手ゴール直ちに交通規制解除

５．表彰、成績

区間順位、個人総合スプリント賞、個人総合時間賞、U-23 賞、O-４０賞とする。

5-1 リーダージャージ

個人総合時間

個人総合時間順位１位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。

リーダージャージは黄色単色とする。

総合スプリント賞

スプリント賞総合順位１位の選手は主催者が用意するリーダージャージを着用する義務を負う。

リーダージャージは緑色単色とする。

U-２３賞

１９９９年以降に生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する白色ジャージを着用する義務を負う。参加選手の年齢構成により基準年を変更する場合がある。

O-４０賞

１９８１年以前生まれた選手のなかで最も総合成績がよかった選手は主催者が用意する桃色ジャージを着用する義務を負う。

リーダージャージ着用順位は個人総合時間、総合スプリント、年齢別ジャージの順とする。

チームジャージが各リーダージャージと類似している場合、チーム第 2 ジャージを着用するまたは、ア

ームバンドを着用して、リーダージャージと判別が付くこと。
リーダージャージ胸部高さ２２ｃｍでチーム名／スポンサー名を表示できる。この表示の布/不織布は別紙情報を参考にチームで用意すること。
表示用チーム名入り布
　　テクニカルガイドにある寸法で　許される範囲の表示内容で２枚用意下さい。
　　１枚目はリーダージャージに付けて出走します。
　　２枚目は表彰式で着用する新しいリーダージャージに付けておきます。
リーダージャージの枚数
　　ステージ１Ｂ終了時点ですべてのジャージを主催者に返還ください。
　　リーダージャージは主催者側で洗濯して翌日レースリーダーに渡します。
　　２日目に総合優勝した選手にリーダージャージを差し上げます。
　　２日目にリーダージャージを失った選手はジャージを主催者に返還下さい。

団体総合
　　団体区間順位は各チームの上位 3 選手の個人時間の合計で順位を決定する。団体総合順位は各ステージの団体区間時間の合計により決定する。団体総合 1 位のチームはステージ前に支給する黄色のゼッケンを着用すること。

5-2 成績
5-2-1 個人タイムトライアル
　個人完走時間にペナルティータイムを加えた時間の優劣で決定する。
　完走時間は 1／100 まで計測する
スタートでフライングを犯した選手に対して、フライングした時間を秒単位に切り上げた時間の２倍をペナルティーとしてゴール通過時刻に加える。
　途中事故により完走できなかった選手は失格とする。
ゴールレーン内でゴールラインを通過しなかった選手は、完走した最下位と同タイムを与える。
最下位のタイムが失格ライン（先頭の 120%）以下の場合、ステージ１Ｂへの出走を認めない場合がある。

5-2-2 集団スタートステージ
　フィニッシュラインにおける成績とする。
　アクチュアルスタート地点はダム堤体上、公式スタートから６ｋｍ地点を予定している。
　計時はアクチュアルスタートから開始する。
　１秒単位で区間時間を与える。
　同一集団とみなされた選手に対しては同一タイムを与える。

5-2-3 個人総合成績
　個人総合成績は各ステージタイムからボーナスタイム、ペナルティータイムを加減したタイムの小さい順とする。
　同タイムの場合、個人タイムトライアルにおいて記録した 1／100 秒単位を考慮する。

5-2-4 ボーナスタイム

ステージ１b　８１ｋｍ（9km x 9 周 うち 6km ローリング）

7 周回(63km)先頭通過上位 3 選手に対してボーナスタイム（3，2，1 秒）を与える。

ゴール通過順位上位 3 選手に対してボーナスタイム（６，４，２秒）を与える

ステージ２　　１２６ｋｍ（９ｋｍx 14 周 うち 6km ローリング）

8 周回(72km)、１０周回(90km)、１２周回(108km)通過時先頭通過上位 3 選手に対してボーナスタイム（3，2，1 秒）を与える。

ゴール通過順上位 3 選手に対してボーナスタイム（10，6，4 秒）を与える

5-3 スプリント総合成績

スプリント成績はステージ１A 成績順及び 1B,2 ステージスプリントライン通過順に応じに下記の得点を与える。　合計得点順に総合成績を与える。

同点の場合は勝ち数による。勝ち数が同じ場合はより最後に得点した選手を優位とする。

ステージ 1B,2 スプリントラインはダム堤体右岸よりダム管理所前とする。

ステージ１ａ　　２，１点

ステージ１ｂ　　２４ｋｍ、３３ｋｍ、４２ｋｍ、５１ｋｍ通過時
３．２．１点

ステージ２　　２４ｋｍ、３３ｋｍ、４２ｋｍ、５１ｋｍ、６０ｋｍ通過時
３．２．１点

６．本部、ライセンスコントロール、ゼッケン配布、マネージャーミーティング

6-1　本部は以下の通り開設する。

210521 まで　セクレタリー：小川　知大　e-mail：entry@kisomura2days.com

210522　08:00-18:00　　ゼネラルセクレタリー小林　090-1867-6706
正沢親水公園先

210523　08:00-18:00　　ゼネラルセクレタリー小林　090-1867-6706
正沢親水公園先

6-２シニア来場

6-2-1 一般情報

駐車　　チーム駐車配置図：駐車位置については一般情報参照。

ゴール 500m～350m に 1 チーム 2 台分の駐車枠を白線で引く　子の白線枠を利用ください

3 台目以降のチームカーは正沢公園ダム側の駐車場 No3 を利用するか　宿泊予定の宿舎駐車場に駐車し乗り合わせで来場ください

チーム区域に駐車すること、密を避けるため駐車場区域の指示に従うこと

地元の部駐車区域を尊重すること。

地元の部参加者車両はステージ 1B 競技開始後にコースから離脱する予定である。

6-2-2 ライセンスコントロール

ライセンス又はＪＣＦ登録申請書控えの持参

（ＪＣＦ未登録の選手は身分年齢を証明するもの）

チームジャージ

（同一母体から参加する複数のチームジャージが類似しているとコミッセールが判断した場合、ガムテープなどで修整を加えることがある。）

テクニカルガイド３－２参加費にあるように　参加費用に差額を設けた。

6-2-3 マネージャーミーティング

出席　　チームマネージャー１名以上

議題　　点呼

予備登録選手との入れ替え

特別規則説明（補給、機材補給、賞典）

レース手順説明

キャラバンバナー配布：各チーム１台追走車両用バナー配布

フロントガラス上部　後部ガラス上部に貼り付けてください。

チーム出走番号（＝待機場所を示す数字）のＡ４の紙

テクニカルガイド（修正がある場合）

各チーム、審判団は最新のテクニカルガイドをホームページから印刷持参下さい。

マネージャーミーティングでテクニカルガイド等公開済み資料は配布しません。

6-3 コースに関する情報

別掲載コース平面図、コースプロフィール、駐車場受付、トイレ位置図、個人タイムトライアルコース図、個人タイムトライアルスタート地点配置図、個人タイムトライアルゴール配置図、ロードレースコース図、選手受け付け用駐車場配置図、参照のこと。

独立行政法人水資源機構味噌川ダムに関する情報は下記を参照下さい。

http://www.water.go.jp/chubu/misogawa/index.html

コースは画面左上からダム沿いに走行し、トンネルを抜けて、木曽川源流ふれあい館前を右折、ダム堤体上を走り、ダム管理事務所前でスプリント賞ラインを通過します。

コース上最も標高の高い絶景ポイントが今回のゴール地点と設定しています。

７レース開始まで

７－１ステージ１a：個人タイムトライアル

7-1-1 使用可能車両

本年度個人タイムトライアルコースにおいて難易度の高いカーブが設定されています。選手安全上の配慮から、全ての個人タイムトライアル選手について追走車両を義務づけます。

この追走車両はＪＣＦ競技規則８４条８項（２）を適用しその車両高さを１．６ｍに制限しません。

~~選手＋メカニックとドライバー＋車両は以下のように組み合わせる。~~
~~コーナーの多いコースで事故が発生した場合、確実に処置を行うために、全選手に追走車両を確実に配置するための処置である。~~

~~各チームは（1名の固定したドライバー＋車両）の氏名＋車両番号をセクレタリーに通知する。~~
~~レースディレクターは選手＋メカニックとドライバー＋車両の組み合わせを事前にチームに向けてメールにて通知する。~~
選手と同じチームカー、ドライバー、メカニックによる選手追走とする。モト、審判車両、立哨審判が競技の公正を確認する（Mod210404）
　マネージャーミーティングにおいてレースディレクターは追走車両であることを示すバナーをマネージャーに渡す。マネージャーは該当する、他チームから提供を受ける車両フロントガラス、リヤガラスにこのバナーを張る。
各チームはチーム出走番号（＝待機場所を示す数字）のＡ４の紙をフロントガラス左側、リヤガラス右側に貼り付けること。
ステージ1A競技開始10分前（１０：５０）には、スタート台後方のチームカー停車位置に車両を停車させること。メカニックは機材と一緒に乗車する権利がある。
　メカニックは各チーム専属のものが提供を受けた車両に乗車するか、選手が交代でメカニックとしてこの車両に乗車する事が出来る。
　随時審判員が追走車両に乗車する場合がある。乗車を拒否した場合、ペナルティーの対象となり得る。

7-1-2 パーキング
各ティームゴール地点手前、補給箇所広場には1枠2台~~1台~~の駐車を認めます。(Mod210404)
この車両を個人タイムトライアル追走車両として黄色のキャラバンバナーを配付します。
フロントガラス上部、リアガラス左下側に見えるように貼り付けてください。
3台目以降の駐車については一般情報駐車場情報に従ってください(Mod210404)
~~上記以外の車両はゴールライン通過３００ｍ地点（選手用Ｂ駐車場）、補給所手間３００ｍ地点（追走車両駐停車場）に駐車できます。白色のキャラバンバナーをメールにて配付します。~~
水、トイレはふれあい館北側トイレ、ダム右岸ダム管理事務所付帯施設を使用ください。

7-1-3 出走確認
個人タイムトライアルステージでは出走サインは行わない。
任意抽出で、上位選手について器材確認を行う場合がある(Mod210404)
~~出走時に機材、服装、ヘルメット検査を行う。~~
公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメットは使用不可。
使用機材についてＪＣＦ競技規則１６条検査を行う場合がある。

ジュニア選手の最大ギヤ比を検査する場合がある。（７．９３ｍ）
フレームプレートについて
　フレームプレートを固定する紐、カッターナイフ、ガムテープほかものについてはチーム準備とする。

ビデオはコース左側から撮影するので、数字が撮影可能なプレート取り付けとする。
フレームプレートの切断はペナルティーの対象とする。
フレームプレート固定のためのガムテープほかを持参下さい。
腰ゼッケン固定に両面着テープは使用しないこと。保管維持管理に多大な労力が必要になります。
両面着テープの使用はペナルティーの対象とします

7-1-4 集合・コースへの進入
7-1-4-1 コース内への進入用 ID について
釣りシーズンであり　釣り客車両との事故を防ぐために　下記の交通規制に協力されたい。
1)チームマネージャーはコース内への進入用 ID をダッシュボード貼り付けてください。
警備担当者には　一般釣り客と競技関係者の区別がつかないため　識別する必要があるためです。
コース内に進入したい全てのチーム車両に貼り付けを御願いします。
進入用 ID はメールにて選手登録責任者に送付します。
選手、チーム役員で必要数印刷下さい.

2) 進入用 ID の追加発行
交通規制は木祖村の皆さんのボランティアで行っております。交通規制ボランティアの負担を小さくするために以下の処置を行います。
・進入用 ID の無い車両がコースへの進入を希望する場合、コース警備ボランティアは本部小林先生に確認を取る。
・参加チームである場合、再発行手数料２，０００円/枚を支払うことを条件に、進入用 ID を現地でチームに授与する。
・チームマネージャーはライセンスコントロール時に再発行手数料をセクレタリーに支払うこと。
・　参加者証明は 1 台の車両に対して 1 枚とする。したがって、複数の車両で参加者証明が必要な場合、必要台数×２，０００円の再発行手数料が必要になることを　予め告知する。

3)出来る限り、交通規制開始時刻以前、以後に車両進入させてください。
交通規制開始時刻以後　5 月２２日１０：２０分以降　最終選手の通告まで（１７時４５分を予定）
5 月２３日０８：５０分以降　ジュニア最終選手通過通告まで
(11 時：05 分予想)
１１：５０分以降　ステージ最終選手通過通告まで
(１５時４０分予定)
にコースに進入することは、２０２１年大会では安全管理上禁止します。
ＣＯＭ１．２車両フロントガラスに残り周回数が表示される。
交通規制時間以外で入場する場合も、必ず　コース進入用 ID をダッシュボードに貼り付けてください。
あまりに、ボランティア警備の方の手を煩わせるようになると、以下の可能性が発生します。
１．あまりに面倒なボランティアのため　警備ボランティアが集まらなくて　試合開催不能
２．審判員を専用に貼り付ける場合、人員増加分の経費を、賞金を削ることで生み出す。
３．運営に支障をきたすことになるので　罰金をチームに要求することになる。
どうか、自主的に　地元の皆さんに負担にならない運営に協力下さい。

7-1-4-2 ステージａ：個人タイムトライアル
スタート地点に出走時刻の５分前までに所在すること
追走車両は出走時刻の１０分前までに所定の隊列位置に駐車すること。
所定の対列位置は路面に表示され、ＨＰに掲載される。

7-1-5 個人タイムトライアルステージにおける脚きり
集団スタート区間での競走の安全のために、個人タイムトライアルステージにおいて脚きりを行う。
１位の選手に対して１２０％以上遅れた選手は、失格とする場合がある。
失格となった選手は、日曜日には残念レースに参加申し込みして出場することが出来る。（参加費無料）

７－２ステージ１ｂ、ステージ２　：集団スタートステージ
7-2-1 出走サイン
出走時刻の３０分前から１５分前までティーム全員そろって
~~集団スタートステージの出走サインはチーム単位で、本部テント前机で４箇所設置する。~~
~~スタート前選手のサインはチーム毎まとまってサインしていただきます。~~
~~選手は出走できる態勢でサインを行うこと~~
出走サインは行わない。　出走前チーム単位で　チーム写真撮影を行う。時刻を指定するのでチーム単位で撮影場所にくること。出走サインの代替とするので指定時刻に写真撮影ができなかった場合ペナルティーと対象とする。(mod210404)
出走サイン時にヘルメット検査を行う。
公認ヘルメット以外の製品、ダメージを受けたヘルメット使用を審判団は禁止する権利がある。
使用機材についてＪＣＦ競技規則１６条検査を行う場合がある。

7-2-2 集合
スタートライン後方の集合エリアに競技開始１０分前までに集合すること
ステージ１ｂでは個人総合成績上位 10 名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。
　その後方はステージ１ａタイム３０秒ごと下記のグループに分けた出走位置とする。
　成績による位置確認を行う場合がある、不正が確認された場合、最後尾に移動すること。
ステージ２では個人総合成績上位 10 名、アナウンサー指定選手を呼び上げる。

８競技
8-1 ステージ１ａ：個人タイムトライアル
8-1-1 スタート
スタータのカウントダウンによる１分間隔スタートとする。
手動計時とする。
第三順と第四順の選手の間に１０分間の休憩を入れる。

8-1-2 競技

ＪＣＦ競技個人タイムトライアル競技規則に従う。
追走車両はＪＣＦ競技規則８７条１８から２０項を尊重すること。
報告事項があるメカニック・同乗者は直ちにセクレタリーに報告すること。
事故などで競走を中断した場合、本部通過時にフィニッシュジャッジに報告すること。
指定範囲でゴールを通過した選手のみを計時対象とする。
暫定成績上位３選手を随時発表する。
対象上位３選手はチャンピオンチェアで表彰式をお待ちください。
最終選手ゴール後直ちにチャンピオンチェアから表彰式を行う。

8-2 ステージ１ｂ、ステージ２：集団出走ステージ
8-2-1 スタート
　スタート後のローリング区間はスタート後約６ｋｍダム堰堤まで行う。
　２０１１年トンネル内の大量落車に対応した処置である。
　正式競技開始はコミッセール２の緑旗によって指示される。

8-2-2 食料補給
シニア
ステージ１Ｂで６周回終了（走行距離５４ｋｍ）、ゴール手前直線区間で走路左側より認める。
ステージ２で７周回終了（走行距離６３ｋｍ）、ゴール手前直線区間で走路左側より認める。
　補給するスタッフは道路にでないこと。
　補給を受けたい選手が走路左側に進路を変更すること。
　ラインのロードレースの補給を考慮して、今回補給は各ステージ１回だけとする。
　上記以外の補給は規則外の補給(ペナルティースケール２４項２０SF＝２，８００円)に相当する。
・補給
　いつも通り補給はゴール手前５００ｍ～２００ｍまでの登坂区間に指定の周回１回だけに設定予定。
感染防止のため以下にご配慮ください。
① 補給地点でのチーム役員がボトルに直接手を触れて選手に渡すことは避けてください。選手ごとに一人分の食料とボトルを入れたビニール袋を用意して，サコッシュに２～３人分入れてください。このサコッシュを選手数またはそれ以上用意してください。

② ゴール手前５００ｍから３５０ｍまでの走路右側の道路幅の広い区間にチームカー駐車場所の白線の枠を引きます。チームカー２台を縦に入れることのできる幅を想定。その枠がチーム駐車場ピットです。走路を挟んで走路左側にも同じような幅の白線を引きます。これら３５か所の枠が第一補給場所です。同様にゴール手前３５０ｍから２００ｍまでに白線の枠を引きます。これが第二補給場所です。補給の機会は同じ周回上で２回あることになります。

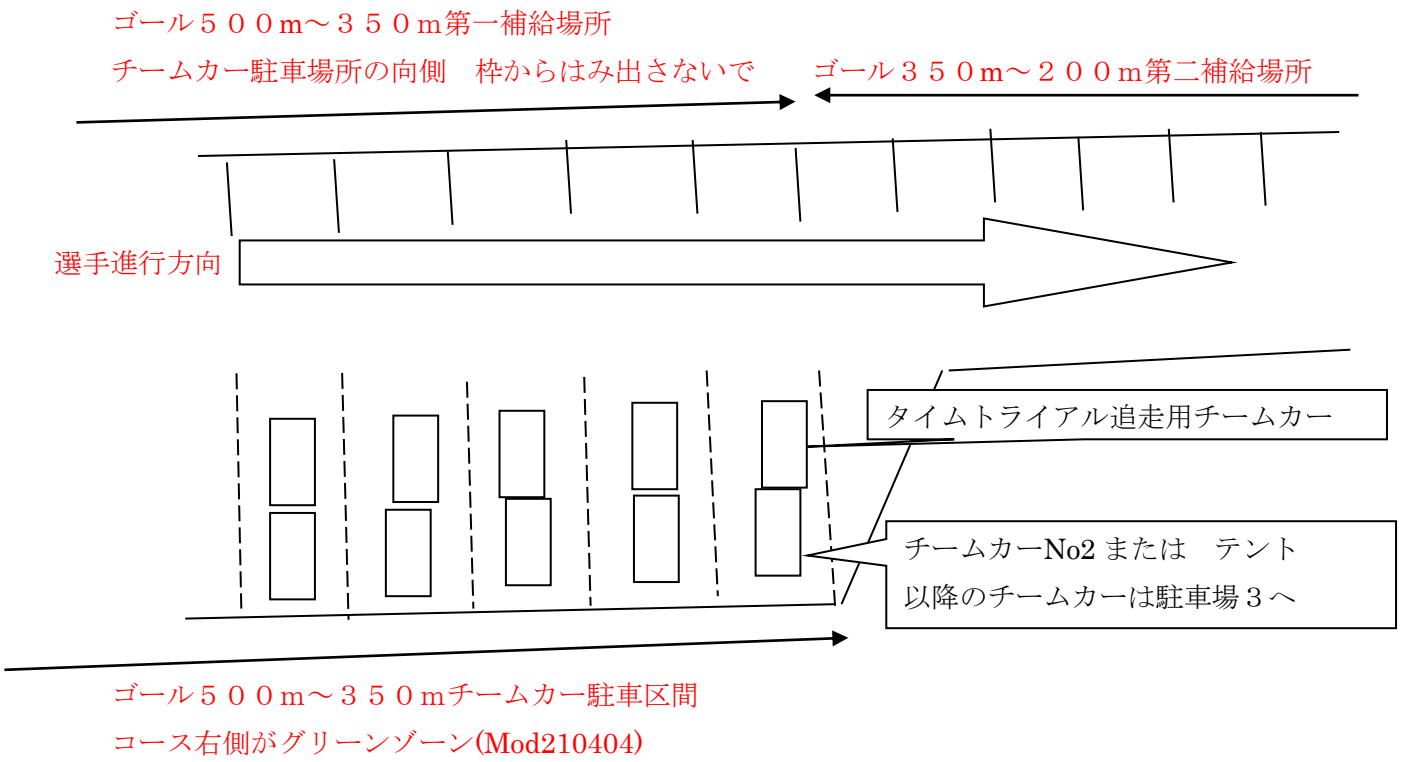
③ 枠から出ないで補給してください。枠のなかにいて選手に補給を渡してください。チーム役員が自由に動き回って補給した場合、密集状態になる危険性があります。

④ チーム役員が第一補給場所、第二補給場所で待機　どちらの役員がどれだけのサコッシュを分担す

るかはチーム内で相談してください。

⑤ サコッシュで受け取った食糧飲料は選手間でビニール袋単位で再配布してください。使い終わったビニール袋とサコッシュはモトに預けるか　次の周回でグリーンゾーン、走路左側のチーム駐車場のチーム役員に投げ渡して下さい。ごみの投棄は１回の投棄で３０００円の罰金です。

⑥ 補給場所イメージール



8-2-3 非常用給水

① 脱水症状対策のための共通ボトルを設定します。前記の補給に失敗したチームのために真水を入れたボトルを COM1,2,3 で運搬します。ボトルにはビニール袋をかぶせてありますので　vinyl 袋はグリーンゾーンでチームカーに向かって投げ渡すか，モトに手渡してください。

~~選手を脱水症状から守るために、共通機材車１．２にボトルを非常用として積載する。~~

~~非常用給水が必要な選手は共通機材車１、共通機材車２まで下がって補給を受けること。~~

~~共通機材車~~COM１．２のボトル本数は２０本を目標とする。(Mod210404)

非常用給水は規則外の補給(ペナルティースケール２４項２０SF＝２，８００円)に相当する。

8-2-4 ゴミ捨てについて

1)奥木曽湖は中京圏の大切な水がめです。綺麗な環境を維持することに協力下さい。
2)ゼリー等食料残滓は野生動物が里に降りてくる原因になります。
3)皆さんの賞金を削らない限り、主催者ではゴミ拾いの費用負担をすることが出来ません。

上記理由より、下記の特別競技規則を通告する。
選手はゴール手前(500～100m)補給区間かつグリーンゾーンのチームスタッフに対して　ごみを投げ渡すこと。グリーンゾーンはコース右側駐車帯に設定する。補給は左側からだけ行われる。
ゴミはチームで回収して持ち帰ってください。
グリーンゾーン以外の区間でゴミを投棄した場合　１回につき 3000 円のペナルティーとする。
このペナルティーに関しては　抗議を認めない。

皆さん方の自主的な協力で　綺麗な環境、効率よい経費を実現させてください

8-2-5 機材補給

マヴィックによる機材補給が行われる　支援体制については今後コミュニケで告知する

機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。

スタートゴール直線左側のみでチーム役員からの機材補給を受けることができる。

ニュートラル周回は認めない。

審判車 3 は共通機材車を兼ねる。(Mod210404)

~~共通機材車 2 台が機材補給を行う。審判車 3 は共通機材車をかねる~~
~~先頭集団のために共通機材車 2 が機材支援する。~~
~~大集団に対して共通機材車 1 、 3 が機材支援する。~~
~~機材補給を受ける選手は走路左端に停車すること。~~
~~スタートゴール直線左側のみでティームスタッフからの機材補給を受けることができる。~~
~~ニュートラル周回は認めない。~~
~~共通機材はリムブレーキ用シマノ１１速ナローリムの車輪のみを供給する~~

8-2-6 失格
先頭から遅れ、周回遅れと見込まれた選手は周回遅れとしてフィニッシュジャッジの判断で排除する。
目安は以下であるが、フィニッシュジャッジが周回時間を勘案して決定する。

ステージ１Ｂ	６周回（５４ｋｍ）まで	先頭から７分遅れ
	７周回（６３ｋｍ）以降	先頭から９分遅れ
ステージ２	６周回（５４ｋｍ）まで	先頭から７分遅れ
	７周回（６３ｋｍ）以降	先頭から９分遅れ

周回遅れになって直ちに競技を停止した周回遅れ選手は記録される。
コミッセールの指示を無視して走行を続けた選手は記録されない。

大量の周回遅れ失格選手が発生した場合、チーフコミッセールは特定周回以降の失格選手に対してペナルティータイムを与えた上で翌日の競走に参加を認めることができる。
この処理は翌朝公表のコミュニケで発表される。
ジュニア＋残念レース（コンソレーション）
　１日目に失格となったシニア選手とジュニア選手で２日目午前９：００からジュニアのレースを行う。
　１日目に失格となったシニア選手の残念レース参加費は無料とする。
　チームスタッフの参加は認めない。
　日曜日８：００から８：３０までの間にエントリー、支払いを受け付ける。

8-2-7 走路上での失格、棄権
走路上で機材故障、事故、落車等により競技を中止する選手、周回遅れ失格を通知された選手は原則自走で本部まで帰ること。
ジャージを裏返す、ゼッケンを外すなどして、競走から排除されたことを示すこと。
失格後、ゼッケンを装着したまま走行した場合、ペナルティーの対象となる。
自走できない選手はサグワゴンに申し出ること。
サグワゴンは選手、自転車を 2 回以上に分けて本部まで運搬する。

8-2-8 サグワゴンによる観客輸送
~~サグワゴンはスプリントポイント付近からゴールライン付近まで観客を輸送することがある。~~
今年観客のゴール地点への輸送は行わない。(mod.210208)
本部に緊急に落車選手を輸送する必要がでた場合、観客に協力をお願いする。

8-2-9 その他注意
・低体温症：2011 年大会において低体温症を発症した選手がいた。
　　標高の高い会場で雨にぬれた競走の経験が無いためと思われる。
　　選手は冷たい雨の中でも練習をして、どのような服装をするとよいか研究すること。
・サングラス：2011 年大会においてトンネル内で大量落車が発生した。
　　以下に注意して欲しい。
　　＊レースディレクターは道路管理者に全ての照明が点燈するか確認する。
　　＊全ての照明が点燈した場合、競技規則を満足する照度である。
　　＊選手はトンネル内部で前が十分見えるサングラスを着用すること。
　　半透明から透明のサングラスを推奨する。

９．表彰、賞品配布
　表彰担当が身柄拘束します。表彰式までチャンピョンチェアーでお待ち下さい。
　ステージ 1A：最終選手ゴール後直ちに行います。
　　上位３名のみ直ちに表彰です。
　　１位にはリーダージャージを渡します。
　　上位３名の表彰　　小花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ１

ステージ 1B 開始前：U-23 賞　O-40 賞　団体総合

ステージ１ｂ　：先頭選手ゴール後直ちに行います。
ステージ上位３名のみ直ちに表彰です。
U-23 賞　リーダージャージ白
O-40 賞　リーダージャージ桃
スプリント総合賞１位　リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ
総合１位の表彰　　リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ

ステージ 2 開始前：団体総合
ステージ２　　：先頭選手ゴール後直ちに行います。
ステージ上位３名のみ直ちに表彰です。
小花束＋ｼｬﾝﾍﾟﾝ１
U-23 賞　リーダージャージ白
O-40 賞　リーダージャージ桃
スプリント総合賞 1－３位
中花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ３
総合１－３位の表彰　大花束＋リーダージャージ+ｼｬﾝﾍﾟﾝ３
団体総合

ゴール上位３名を対象にゴール直後本部前付近で表彰式を行う。
この式典に欠席した選手はペナルティーの対象となる。
賞金金額は別紙賞金表による。
賞金は賞金対象選手所属監督指定口座に５月末前後までに振り込まれる。
賞品の配布は下記の通りとする。
シニア賞品配布目標時間　：１６：００－１６：３０分まで
配布場所：本部にて　受領サイン後

ステージ 1a までのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。
ステージ 1ｂまでのコミュニケはゴール地点付近現場本部付近に張り出す。
ステージ 2 までのコミュニケは現場本部付近に張り出す。

10. ゼッケン回収
チームマネージャーはゼッケン、フレームプレート、ＴＴプレートを全競技終了後６０分以内にチーム毎受領したケースに全て収めて返還すること。選手個別での返還は受け付けない。
ゼッケン、フレームプレート、ＴＴプレートを返還しない場合ペナルティーの対象とします。
使い捨てゼッケンを導入する場合、選手の賞金金額を減額せざるを得ません。主催者は出来る限り選手

を支援したいと考えています。御理解と御協力を求めます。
共通機材と交換した車輪等を競技終了後本部付近共通機材車にて返還します。

11．供託金
本大会において供託金は５，０００円とする。
本大会において１ＳＦを１２０円（≒１１７．２７円　１月０５日）として計算する。

12 医療施設
県立木曽病院　木曽郡木曽町福島６６１３－４　　コースから２０分
０２６４－２２－２７０３
http://www.pref.nagano.jp/xeisei/kisohosp/

当日救急医が会場において応急処置のみを行う。

13.コミッセールパネル
レースディレクター／チーフコミッセール　　藤森　信行
コミッセール２
コミッセール３
フィニッシュジャッジ
ゼネラルセクレタリー　　小林　秀一
セクレタリー　　小川　知大
以下決定次第順次発表

14.このテクニカルガイドの対する追加情報、質問は下記のホームページ参照のこと
2days race in 木祖村 公式ホームページ　kisomura2days.com

15.修正経歴
210208：第１章総則第３項　全日本選手権ロード出場資格がＪＣＦより認められました。
8-2-8 サグワゴンによる観客輸送　を今年は行わないことに修正しました。
210319　防疫体制の追加　チーム提出物
参加手順
受付、競技運営手順の修正
リーダージャージにチーム名を入れる手順の修正
グリーンゾーンの追加
210404　防疫体制の追加